



発行責任者

西川 晃二

【校長室より】

学力と努力の相関曲線

寒中お見舞い申し上げます。

平成27年がスタートしました。本年もよろしくをお願いします。

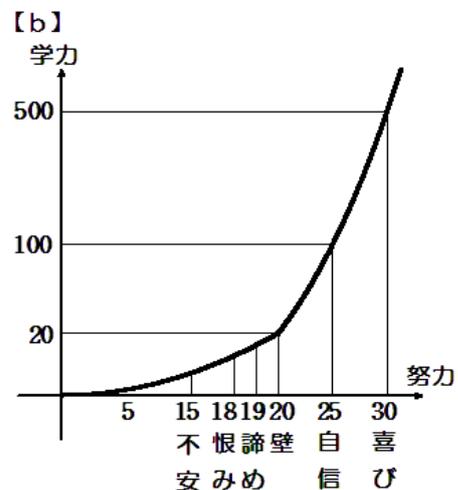
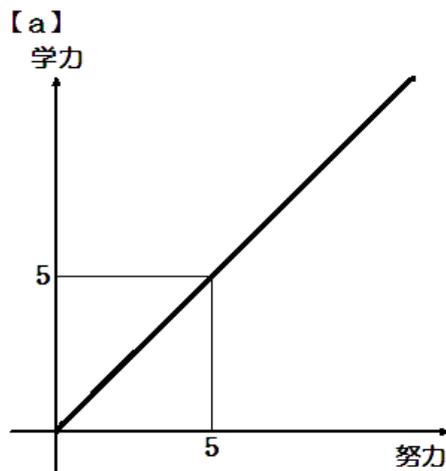
1月はなんといっても第3学年のセンター試験受験です。試験前日、出陣式を実施しました。その際、生徒たちに「学力曲線」（西川による勝手な命名）なるものを話しました。教員として、長年、生徒たちを教えてきて、また、自分自身の学習経験からも、学力の伸長には、ある傾向があると思っています。（ちょっと大げさでしょうか？）

一般的に、学力は日々たゆまぬ努力を重ねさえすれば、1次関数 $y = ax$ の正の比例の直線ではありませんが着実に正の相関関係で結果が表れるように思いがちです。右の【a】の図の、努力「5」に対して結果（学力）「5」が対応するようにです。しかし、現実はそのではありません。がんばってもがんばっても模試の結果は芳しくなく、苦しい毎日が続きます。ところが、あるレベルに達しその壁を突き破れば学力は幾何級数的に身についていくものです。数学の世界で言うと【b】の図の3次関数の曲線です。 $y = ax^3$ の増加関数の曲線です。努力「5」に対して結果は限りなく「0」に近いが、それにめげず努力をさらに続けると努力「20」に対して結果が「20」に。このときが学力飛躍の壁と言えます。その壁を乗り越えれば、「25」に対しては結果は「100」、「30」に対して「500」というように学力は幾何級数的に増加していくものなのです。生徒たちは、努力の「10」で芽が出ないと「もしかしたら駄目じゃなかろうか」と不安になり、「15」では「やめた、やめたっ」とふてくされ、「18」では「親もたいして利口じゃないっしー」と自分自身、果ては親や教師を恨み、「19」で「敗北！撤退！」と諦める。そういった生徒が多いのではないのでしょうか。「20」を越せば、見通しが付くのに、さらに「25」「30」とくれば、自信が付き、学びの喜びを感じることができるのです。今一歩で花開く、それを目前で諦めないようにしたいものです。

出陣式で、以上の学力曲線の話をしたのは、センター試験が生徒たちにとって努力の「25」「30」に対しての結果「100」「500」を出せるように願った話でした。受験は、まず、日々の結果を重視し、勝ち越し、負け越しを問題にする大相撲の世界ではない。千秋楽で1勝をあげることが、センター試験では重要なのだ。これまでの日々の努力が報われる極点まで自分を高めよと叱咤激励したところでした。

生徒たちは、出願がすみ、これから2次試験へ向かって懸命ながんばりを見せてくれるはずですが、上記の学力曲線ではありませんが、現役生は2次試験までの1ヶ月弱で一番学力が伸長します。驚異的な伸長度合いを見せてくれる生徒が過去多数いました。諦めることなく最後まで粘り抜いてほしいと思います。「平凡を積み重ねれば非凡となる」ではありませんが、学力の増進も「凡事徹底」の精神の延長線上にもあるのではないのでしょうか。

当然、教員も必死の支援態勢で臨みます。ご家庭でも見守りをお願いいたします。



※数値については数学的な正確さは無視しています。

頑張れ！3年生！

センター試験激励 いざ出陣！

1月16日（金）、本校の軽スポーツ場でセンター試験出陣式がありました。本年度、センター試験を受験する141名の生徒たちに対し、多くの先生方から激励の言葉を頂きました。

まずは校長先生から、激励の言葉を頂きました。「大相撲の世界では、8勝7敗で勝ち越しですが、受験はそうではありません。模試で14敗してもセンター試験で1勝すればいい。」また、「受験勉強では少しずつ成績が伸びるのが理想です。しかし、学力の伸長はある時点を境に、幾何学級的な伸びを示します。センター試験で急激な伸びを見せる生徒が少なからずいるのはそのような事情からです。」と生徒たちを励ましてくれました。

次に、3年1組真崎くんが、「今は緊張していて試験が怖いけど、それよりもこれまで支えてきた方への感謝の気持ちの方が強いです。これまでやってきたことを信じて、全員で合格を勝ち取りましょう。」と力強く決意表明をしてくれました。

最後に、各教科からのアドバイスがありました。緊張している受験生をリラックスさせようと趣向を凝らしたものばかりでした。生徒たちの強張っていた顔も、いつのまにか笑顔になっていました。出陣式に際し、1・2年生が作ってくれた折り鶴やメッセージをはじめ、各部活動、昨年度まで在職されていた先生方から応援メッセージをいただきました。生徒達はうれしそうに見入っていました。応援していただいた皆さん、本当にありがとう



とき
勝ち鬨をあげる3年生

国公立大学個別試験に向けて

第3学年主任 宗田将平

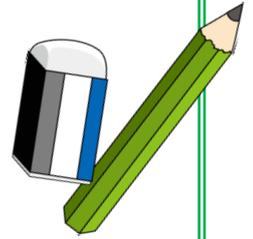
「峠の向こうに春がある」というスローガンの下にスタートした3学年の1年間も、いよいよ佳境に入ってきました。国公立大学のみならず私立大学の入試もいよいよ間近に迫り、それぞれが進路実現のための勝負の時を迎えようとしています。

みなさんは「うさぎとかめ」の物語を知っていますよね。まさに、あの物語のような「逆転」がたくさん起きるのが、この受験なのです。センター試験の結果に満足している人は、要注意。試験と世間は、そんなに甘くはないです。逆に、センター試験でうまくいかなかった人も落ち込む必要はありません。二次試験に向けて確実に進んでください。試験まで「人生でこんなに勉強したことがない。」と言えるくらいの学習をすれば、奇跡の逆転Vが待っています。勝利する人は、最後まであきらめません。その精神で頑張りましょう。「勝者は常にあきらめず」です。

峠の向こう側には、素晴らしい景色が待っています。しかし、その峠までは非常に危険な場所が多いのです。本気で頑張った人だけが見られる光景を、ぜひ、全員で！！



中地区学習交流会（2年生）



1月10日（土）、11日（日）の2日間、中地区の難関大学を志望する高校2年生を対象に、大村高校を会場に学習交流合宿が開催されました。中地区7校から総勢100名が参加し、文系難関・理系難関・東大京大の3講座に分かれ国英数3教科の講義を受けました。本校からは21名の生徒が参加し、レベルの高い講義や他校の生徒との交流会を通して、受験に関する様々な情報を得ることができました。とても良い刺激を受けたようです。

生徒感想（抜粋）

- ・私はこの学習会に参加し、自分の勉強不足を痛感し、今後の学習への意欲が高まった。普段の授業を大切にすると同時に、家庭学習では早く演習にとりかかるために今までに習った範囲の復習をしていきたい。
- ・今回の学習交流会を通して長崎県の中地区だけでこんなにライバルがいるのかと思った。その中に身を置くことで、学習への意識が高くなったと思う。
- ・同じ大学を目指す人を見つけたり、自分がつまずいたところを簡単に答える人を見つけたり、いろいろな場面で「負けたくない!」と感じた。ライバルたちと同じ空間で勉強する機会はなかなかないので、とても良い刺激を受けた。
- ・交流会で他校の生徒がリーダーシップを発揮しているのを見てとても驚いたと同時に、自分もあんな風になりたいと思った。とても充実した2日間だった。これからは、ライバルであり、仲間である他校の人たちのことも意識して勉強していきたい。

第36回下五島地区高等学校百人一首大会 ～五島高校10連覇を達成～

1月14日（水）五島高校セミナーハウスにて下五島地区高等学校百人一首大会が開催されました。五島高校、五島海陽高校、五島南高校、奈留高校の4校から34名の生徒が参加して、かるたの腕前を競い合いました。五島高校からは百人一首かるた部の生徒が代表として出場しました。他校は、校内百人一首大会の上位者が参加したようです。



総当たりで3試合を行った結果、五島高校が3勝を上げ10連覇を果たすことができました。試合の後は、それぞれの代表が各学校の紹介を行いました。その紹介の後、参加者で輪になって懇親会を行いました。好きなかるたの札や学校生活について情報交換をしていました。

伝統ある大会で連覇を果たすことができ、うれしく思います。今後とも応援よろしくをお願いします。

平成26年度薬物乱用防止教室

1月20日に講師として五島市警察署生活安全課よりお招きしてDVD上映および講話を行っていただきました。

DVD上映では、「中学生に拡がる違法ドラッグ・危険な脱法ハーブ」を鑑賞することで、健康障害が起こるメカニズムについて、専門的な内容や様々な事例から多くのことを学ぶことができたと思います。講話では、現場の方から様々な実例を挙げていただきました。薬物に手を出してしまったらどういう状況になってしまうかがDVD上映や講話によって改めて分かりました。

薬物の恐ろしさを知り、絶対に薬物には手を出さないということを再確認することができました。

【DVD内容】

- ・脱法ハーブによる相次ぐ事件（ひき逃げ・強盗）について
- ・ダルク支援会について（薬物依存）
- ・薬物乱用、耐性、精神的・身体的苦痛、薬物探索行動のサイクルについて

部活動

祝 美術部 長崎県高等学校総合文化祭高校美術 全員入賞！

優秀賞	1年	浦	きみか	「宝物」	九州大会に出展
優秀賞	2年	大村	美優ジン	「瞬間」	
優良賞	1年	才津	桃子	「家族」	
優良賞	1年	上戸	咲輝	「夜の花」	
優良賞	3年	竹崎	志保	「小倉百人一首かるた競技大会のためのイラストレーション『和』」	



浦さんの作品→



○第44回ハイスクール・ジャパンカップソフトテニス2015シングルス大会

【個人】 松本航洋 決勝トーナメント1回戦敗退
竹山凜成 予選リーグ敗退

○平成26年度長崎県高等学校新人体育大会バレーボール競技

【女子】 1回戦 五島 ○ 2-1 吉岐商業
2回戦 五島 ● 0-2 鎮西学院

○平成26年度全国高等学校選抜剣道大会

【男子団体】 1回戦 五島 ○ 2-1 瓊浦
2回戦 五島 ● 0-2 西陵
【女子団体】 1回戦 五島 ● 0-5 島原

○第45回太宰府かるた競技大会

【大納言位戦（D級）】 3位入賞 坂口帆乃伽/川元理央



○平成26年度長崎県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

【男子】 1回戦 五島 ○ 100-42 翔南
2回戦 五島 ● 80-102 西海学園
【女子】 2回戦 五島 ○ 81-60 西陵
3回戦 五島 ● 68-75 西海学園

○平成26年度長崎県高等学校新人体育大会柔道競技

【女子個人】 48kg級 第3位 磯冲晴花
52kg級 第3位 大島瑠莉
第4位 松野京香

